

SHINGO MIYAZAKI
YASUKO MIYAZAKI

ガラスと布



好きに自由に、心地良く

夫の真吾さんはガラスの器とアクセサリ。奥さんの康子さんは布小物や着物リメイク作品、とんぼ玉。ガラスと布で、夫婦それぞれ好きな作品をつくるのが「あとろえ瑠璃絵」の流儀。今回は、初夏に合わせて「バラ」をテーマに、器とポーチで共演した。

日中は、それぞれの作業室で黙々と創作に打ち込む。完成したら互いに作品を見せ合う。「見せたときの反応で、この作品はイマイチなんだとか、意外に良くできたとか、作品の良し悪しがすぐ分かるんです。夫婦になって4年も経てば、言葉はなくても相手の態度や表情から言いたいことが分かっちゃう」と康子さんは笑う。



あとろえ瑠璃絵

宮崎 真吾 さん
康子 さん

秋田市横森4-9-16
TEL.018-831-0318
<http://sm1952.blog.fc2.com>

以前は建設会社を経営し、忙しい日々を送っていた真吾さん。仕事で上京したとき、砂などの粒子を吹き付けて素材の表面を加工するサンドブラストに興味を持ち、ガラス工芸を始めた。その後、電気炉を使ってガラスを融合・変形させる技法、キルンワークに憧れて、「硝子工房窯硝」(秋田市榑山)のガラス作家、鎌田祥子さんに師事。洋服リフォームの仕事をしていた康子さんを誘って、秋田県内で行われる手づくり作品の展示イベントに参加するようになり、2006年に「あとろえ瑠璃絵」を構えた。会社は5年前にたたみ、今は「趣味以上、仕事未満」で創作活動を楽しんでいる。真吾さんは「2人でイベントに参加すると、仲間に『おしどり

作家』なんて言われちゃって。年を重ねて仕事を引退した後こんな生活を送るとは思ってもみませんでした。ものづくりは実に楽しいですよ」と話してほほ笑む。

